

第5学年 道徳学習指導案

日 時 平成17年10月28日(金) 1校時
対 象 1組(男16名 女22名 計38名)
指導者 播 磨 佐 知 子

1 主題名 温かな心 [思いやり・親切2-(2)]

2 資料名 人の心にふれて 出典：学研「みんなのどうとく」5年

3 主題設定の理由

(1) 価値について

第5学年および第6学年の指導内容2-(2)は、「だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。」となっている。この内容は、主として他の人とのかかわりに関するものであり、相手の気持ちを考えながら親切に接していくことのできる児童を育てようとするものである。

人間の社会は、お互いの協力の上に成り立っている。そしてそれらを支える力となるものが思いやりの心である。思いやりの心は、豊かな人間性を構成する要素の一つである。相手を思いやり、その立場に立って親切な行動をすることは、私たちがよりよい社会生活を送る上で大切なことと考える。

この時期の児童は相手を思いやり、相手の立場に立ってものごとを考え、行動できる段階にきている。しかし、相手が困っている場に遭遇すると、なかなか実行に移せないものである。相手の立場に立って親切にすることがいかに大切かを考えさせることが重要である。

(2) 児童について

本学級の児童は、3年生のときに老人介護施設「和敬荘」で紙芝居を見ていただいたり、4年生のときは老人クラブ「大寿会」のお年寄りの話を聞いたりする活動を行っている。それらの活動等を通して、だれに対しても思いやりの心をもって接することは大切なことだと理解し、友達が困っていると声をかけたり、手伝ってあげたりする行動も見られている。

しかし、親しい者同士では優しく接することができるが、そうでない場合には困っている人を見てもなかなか行動に移すことができないことが多い。また、相手のことを心配する気持ちをもっていても、その気持ちをどう表せばいいのかわからないでいるというのが現実である。よりよい社会生活を送っていくためには、親しい人だけに親切にすればよいのではなく、その対象を広げていくことが必要であり、「思いやりの心」を「かたち」に表すことも大切であると考えられる。

そこで、この価値を通して、だれに対してもその人の立場に立って思いやりや親切の気持ちを持ち、行動に表していこうとする心情を養うことが大切と考え、本主題を設定した。

(3) 資料について

本資料は、下校途中で出会った一人のおばあさんとの出来事を通して展開されていく。まきを背負って坂道を登ってくるおばあさんの手伝いをしたことで、「ぼく」は人に親切にできたときの満足感を知ったり、親切を感謝で受け止めてくれたおばあさんの温かい心を感じたりする。

また、1年後におばあさんが亡くなった時は、手伝いをしたときの温かい心を思い出して幸せを感じたり、おばあさんの家族が相手の立場に立って他人を思いやる気持ちも感じ取ったりする。

親切をすることが照れくさく、心とは逆の態度を取ることもある主人公の心の葛藤に児童を共感させながら、だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立った親切を行うことの大切さを考えさせるのに適した資料である。

(4) 指導にあたって

児童は、4月の学級会で、学級目標の1つに「思いやりの心をもってみんなと仲よくする学級」という項目を決定した。その実践として、3年生との「遊びの集会」では、3年生に喜んでもらえるような遊びを考えたり、プレゼントを贈ったりすることができた。また、帰りの会には「今日のMVP」として、親切にしたこと・してもらったことを発表し、友達への思いやりの気持ちを意識しながら生活をしていくよう、心がけさせている。9月に老人介護施設「和敬荘」を訪問した際には、思いやりの心を行動で表すよう話し合ったところ、手に麻痺があるお年寄りに代わって紙を切ってあげたり、立ち上がる時に手伝ったりする様子も見られた。

本時の気づく段階では、和敬荘での交流の様子を思い出し、価値への意識付けを図りたい。

見つめる段階では、圭吾が見知らぬおばあさんにしてあげた親切がとてもしばらしい行動であること、その親切を通しておばあさんと心が触れ合えたことを理解させる。

つかむ段階では、下校途中の出来事から1年後におばあさんが亡くなったことを通して、親切にしたときの温かい気持ちを思い出す。また、2年後に感じる、やさしさに対する照れくささには、児童にも十分共感させたい。

広げる段階では、和敬荘で実際に触れ合ったお年寄りのメッセージを聞くことにより、自分たち

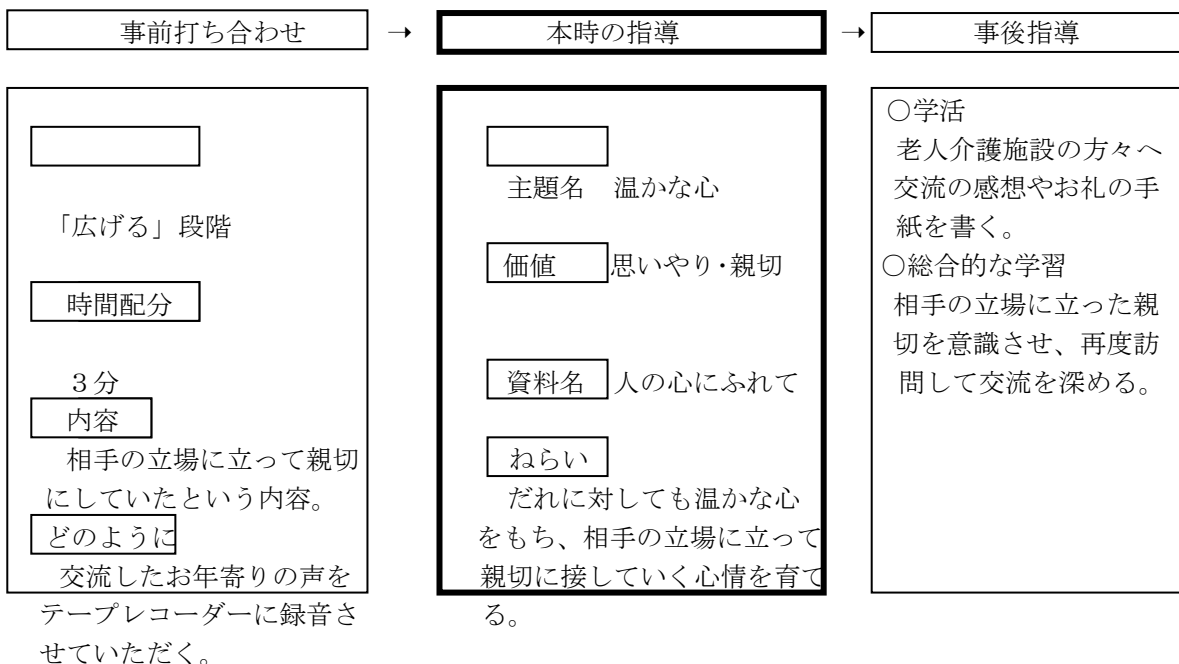
が相手の立場に立って親切にできたことの喜びを感じ取らせ、これからも思いやりの心をもって進んで親切にしていこうとする意欲につなげたい。

まとめる段階では、今日の学習から感じた親切や思いやりについての自分なりの思いを、書く活動を通して再認識させたい。

この学習を通し、だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切に行動することが、人に親切にできたときの満足感や、親切を感謝で受け止めてくれた人の心との触れ合いにつながるという心情を高めていきたい。

4 本時指導の位置付け

<p>地域講師について</p> <p>○老人介護施設 (青山和敬荘) 通所のお年寄り</p>	<p>協力を依頼するねらい</p> <p>児童が相手の立場に立って親切にできていた場面を、通所のお年寄りに教えていただきたい。そして、自分たちの思いやりの心や親切な行動に気付くことにより、自分の思いを形に表し感謝されたときの満足感を実感してほしい。</p> <p>特徴 (よさ)</p> <p>青山地区に住んでいるお年寄りが通所しており、施設開放の際に気軽に遊びに行くことができる施設である。継続しての交流ももちやすい。その施設の方々との触れ合いを通し、相手の立場に立った親切の大切さを身近に感じることができるのではないかと考える。</p> <p>探し方</p> <p>総合的な学習の時間の活動で、「青山和敬荘」に福祉体験に行ったとき、いっしょに活動して下さった通所の方。</p>
--	---



5 本時の指導

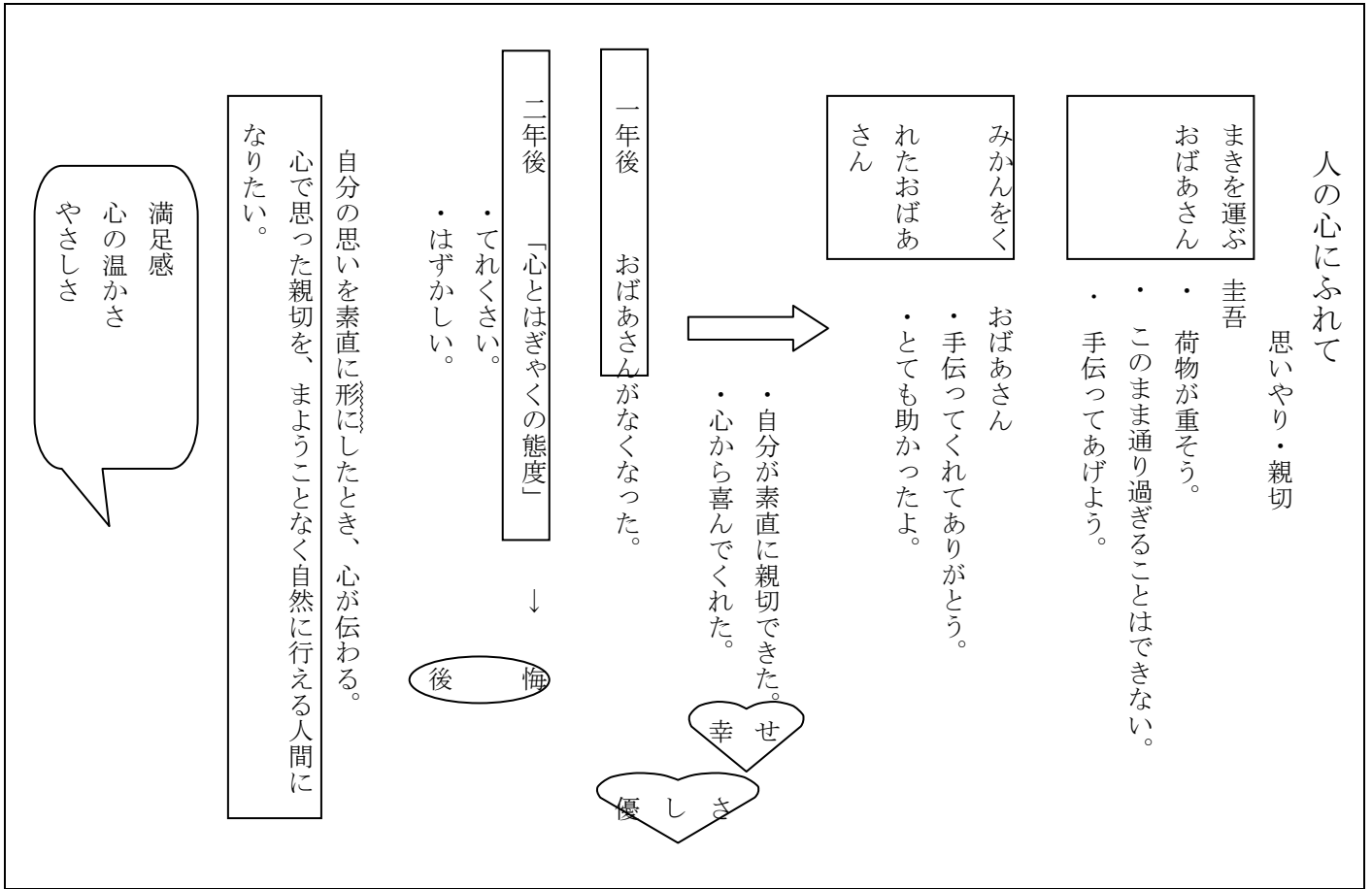
(1) ねらい

だれに対しても温かな心を持ち、相手の立場に立って親切に接していくことの大切さを知る。

(2) 展開の概要

段階	学習活動と主な発問	予想される発言や心の動き	指導・援助の留意点
<p>気 づ く</p> <p>10 分</p>	<p>1 老人介護施設での活動を思い出す。</p> <p>○ 和敬荘での活動について思い出してみよう。</p> <p>2 資料についての感想を発表し、話し合いの方向をつかむ。</p> <p>○ 資料を読んだ感想を発表してください。</p> <p>○ 今日は、思いやりと親切について考えていきましょう。</p> <div data-bbox="272 1043 802 1122" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>思いやりと親切について考えよう。</p> </div>	<p>・ 車椅子の向きを直してあげた。</p> <p>・ うちわ作りで切る所を手伝ってあげた。</p> <p>・ おばあさんに声をかけて手伝ったことが、とても親切だ。</p> <p>・ おばあさんの家族にもやさしさを感じた。</p>	<p>・ 提示した写真をもとに、活動について思い起こさせながら、価値への意識付けを図る。</p> <p>・ 感想を話し合わせながら場面を確認する。</p> <p>・ 思いやりと親切について考えていくことを確認する。</p>

<p>見 つ め る</p> <p>10 分</p> <p>つ か む</p> <p>15 分</p>	<p>3 圭吾の思いや考えについて話し合う。</p> <p>○圭吾が、2人の友達に、「手伝ってあげよう。」と声をかけたのは、どんな気持ちからでしょうか。</p> <p>○圭吾たちにみかんをあげたおばあさんの気持ちを考えよう。</p> <p>4 おばあさんがなくなった後の、圭吾の気持ちについて考える。</p> <p>○ 1年前のできごとを思い出すと、なぜ圭吾は幸せになるのですか。</p> <p>◎おばあさんがなくなってから2年後、圭吾は、何で「心とはぎゃくの態度」をとってしまうのだろう。</p> <p>○圭吾が、「心で思った親切を、まようことなく自然に行える人間になりたい」のは、どうしてですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物が重そうで、おばあさんがかわいそうだったから。 ・そのまま通り過ぎることはできないと思ったから。 ・まだまきの山があって、少しでも手伝ってあげようと思ったから ・手伝ってくれてありがとうね。 ・とても助かったよ。 ・自分が素直に親切ができたから。 ・おばあさんが心から喜んでくれたから。 ・照れくさいから。 ・手伝いたいと思っても、恥ずかしくて手伝えないから。 ・やさしくすると、周囲に何か言われそうだから。 ・思い切って人に親切にできたときの満足感があるから。 ・心の温かさをもらえるから。 ・見知らぬ人にもやさしくしたいと思うから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・このまま通り過ぎることはできないという気持ちを考えさせる。 ・おばあさんが本当に喜んでいたという気持ちを考えさせる。 ・相手の立場に立った親切が、自分の幸せな気持ちにもつながることをつかませる。 ・おばあさんの家族のやさしさにもふれる。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・となり同士で意見を交流し、心とは逆の態度を取る主人公の気持ちに十分共感させる。 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心とはぎゃくの態度」をとると「後かいする」ことも意識させる。 ・自分の思いを素直に形にあらわしたとき、心が伝わることを意識させる。
<p>広 げ る</p> <p>3 分</p>	<p>5 老人介護施設の方のメッセージを聞く。</p>		<p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの行動が相手の立場に立った思いやりや親切となっている喜びを感じる。 <p>-----</p>
<p>ま と め る</p> <p>7 分</p>	<p>6 今までの話し合いを通して感じたこと、思ったことを書く。</p> <p>○学習して思ったことや感じたことをプリントに書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思うだけでなく、親切を行動で表したい。 ・知らない人にも恥ずかしながらに親切ができるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で感じたことを書かせる。



7 資料分析

資料名 人の心にふれて (出典：学研「みんなのどうとく」5年)

◎ ねらい

だれに対しても温かな心を持ち、相手の立場に立って親切に接していくことの大切さを知る。

場面	①圭吾が友達と一緒に、まきを背負ったおばあさんの手伝いをする場面	②おばあさんが亡くなったが、圭吾がおばあさんと家族の優しさを感じる場面	③圭吾は、心とはぎやくの態度をとって、とても後かいすると考える場面
外的状況と主人公の心の動き	<p>おばあさんのまき運びを手伝ってあげよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このまま通り過ぎることはできない。 ・大変そうだ。 ・手伝ってあげよう。 ・おばあさんの心のように温かなだいたい色のみかんだ。 <p style="text-align: center;">心配 親切</p>	<p>1年前の出来事が忘れられない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ずっと手を合わせていた。 ・1年前の出来事を思い出すと、心が温かくなる。 ・おばあさんのやさしい気持ち、家族にも感じられた。 <p style="text-align: center;">幸せ やさしさ</p>	<p>心とはぎやくの態度をとってとても後かいする。</p> <p style="text-align: center;">思いやり・親切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人にやさしくしてあげることが照れくさい。 ・周りの人に冷たく接してしまう。 ・自分の思いを素直に表すと心が伝わる。 ・親切を自然に行える人間になりたい。 <p style="text-align: center;">後悔 葛藤 決意</p>
児童の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物が重そうで、おばあさんがかわいそう。 ・だまって通り過ぎることはできない。 ・少しでも手伝いたい。 ・おばあさんが喜んでくれてよかった。 ・手伝ってあげてよかった。 ・喜んでくれてうれしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・素直な自分や、心から喜んでくれたおばあさんが忘れられない。 ・おばあさんの家族までやさしさをつたえてくれていたなんて素晴らしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人に親切をするのははずかしい。 ・勇気をもって親切ができるといい。 ・相手の気持ちを考えて行動したい。
発問	○ 2人の友達に「手伝ってあげよう。」と声をかけたのはどんな気持ちからでしょう。	○ 1年前のできごとはなぜ圭吾を幸せにしてくれるのですか、	◎何で「心とはぎやくの態度」をとってしまうのだろう。